

令和元年度事業活動実績報告

I. 公益事業報告

(1) パッケージデザインに関する調査・研究及び情報の収集・発信事業

1) 調査研究事業

(a) 調査研究及びサイト用資料の作成

前年度より継続して「社会課題とパッケージデザイン」を重点テーマに委員会内でワークショップを進めた。令和元年度は、とくに「買い物テクノロジーの変化」及び「持続可能（サステナブル）な社会に向けて」、これらとパッケージデザインの関わりを探った。

「買い物テクノロジーの変化」についての概要は、研究会開催時に報告、研究会でのディスカッション内容も踏まえて、さらに議論を経て情報共有を図った。「持続可能（サステナブル）な社会に向けて」に関しては、幅広く情報収集・共有・討議を重ね、次回研究会での発表に向けて準備を進めた。

また、Web サイトでは「パッケージデザイン【情報の森】」内の継続的な記事の更新・追加により積極的な情報発信を行った。

(b) 調査研究成果の発表

前年度に調査研究委員会ワークショップで得た課題と仮説を報告・ディスカッションする場として、「パッケージデザインの価値はどうなるか？」と題した研究会を開催したが、今回はデジタルテクノロジーで変化する買い物行動に絞り「ザ・買物」と題した第2回研究会を開催。

第一部は日本包装専士会 島田道雄副会長による基調講演、情報共有に続き、第二部では参加者同士で「買い物変化と未来のパッケージ」をテーマにディスカッションする機会を設けた。参加者アンケートでは全体の97%が有意義だったという評価をいただいた。

開催日時：令和元年9月19日（木）

開催場所：東洋インキ株式会社 大会議室

参加者数：32名（会員24名、一般6名、学生2名） 内、継続参加者10名（会員8名、一般2名）

2) アーカイブ事業

- ・日本パッケージデザイン大賞の大賞・金賞受賞作品の収集作業は継続しているが、令和元年度は収集された作品と収集はされていないが出品者にお借りした作品を展示した**第一回アーカイブ展「新しく、懐かしい。ほぼ平成のパッケージデザイン 1985-2019」**と、その開催期間中に「平成という時代とパッケージデザイン」と題した**第二回セミナー**を開催した。

<第一回アーカイブ展>

開催日時：令和元年11月6日（水）～16日（土）の11日間

開催場所：グッドデザイン丸の内

来場者数：4,084名（期間累計）

<第二回セミナー>

基調講演：デザイン評論家、武蔵野美術大学名誉教授 柏木 博氏

開催日時：令和元年11月15日(金)

開催場所：東洋インキ株式会社 大会議室

参加者数：72名（会員47名、一般24名、学生1名）

- ・D-8 関連では、ジャパンデザインミュージアム設立研究委員会に参加するとともに、令和元年11月19日(火)～29日(金)に金沢 柳宗理記念デザイン研究所で開催されたジャパンデザインミュージアム構想研究発表会 in 金沢の企画・運営に積極的に参加・協力した。

3) 広報事業

- ・平成30年度にリニューアルした**広報誌「JPDA MAGAZINE」**は、協会内はもとより協会外への発信ツールとして、**令和元年度も継続して3・4号を発刊**した。
- ・3号では2019年のJPDA活動方針、主な60周年記念事業の案内と公募で選ばれた60周年シンボルマークの紹介、38回通常総会後の、日本パッケージデザイン大賞2019の金賞をダブル受賞した鈴木奈々瀬氏による講演会「強いデザインの作り方」と交流会、また、アスパック（日本・アジア学生パッケージデザインコンペティション）の特集に加え、新入会員の紹介、1号から連載している前理事長「カトウヨシオの職探し」として、理事である鈴木智晴氏の案内によるポラデザイン研究室の記事を掲載した。
- ・4号では巻頭に令和元年10月に開催したトークショー「サトウとカトウ グラフィックデザインとパッケージデザインは違うんです」を掲載。続いて、11月のアジアパッケージデザイン会議の代表者会議に出席されていた台湾のオーウェン氏とタイのソムチャナ氏を大阪に迎えた特別講演会「世界が沸くデザインの異才!」と、同月に東京で開催された第1回アーカイブ展と第2回アーカイブセミナーを紹介した。また、新入会員紹介の後で、大阪の墨家荻野丹雪氏のオフィスを訪ねた「カトウヨシオの職探し」の記事を掲載した。
- ・広報誌以外では、平成31年4月にリニューアルした協会案内（A4版）の簡易版（小冊子）を制作し、新入会員獲得を意図してJPDAイベント会場等で参加者に配布するとともに、各委員会の令和元年度事業スケジュール及び委員会メンバーを紹介する、年間事業カレンダーを6月に制作し、全会員に案内した。

4) インターネット事業

- ・インターネット、メールメディアによるJPDAプロモーション活動と協会ウェブサイト(一般/会員)やマイワークスの企画・運営に加え、インターネットSNSを活用した迅速な情報と定期的な会員メールの発信を行うとともに、隔年開催の日本パッケージデザイン大賞の応募案内をはじめ各事業の告知レポートを掲載、第38回通常総会決裁事項等を公開した。
- ・また、2020年のJPDA創立60周年を控え、**ウェブサイトのリニューアル**に取り組み、情報発信機能の強化、セキュリティ向上、スマートフォン対応、情報アクセス性の向上などの開発を進めた。**リニューアルサイトは2020年6月15日にオープン**した。
- ・マイワークスは閲覧者の情報アクセス性の向上と、掲載者の情報発信機能の拡大を目的に大幅なリニューアルを前年度より進め、今年度公開した。

(2) パッケージデザインに関する公募、審査、受賞者の発表、贈賞に関わる事業

1) コンペティション事業(日本パッケージデザイン大賞2021：60周年記念事業)

- ・令和2年度に審査が行われる「日本パッケージデザイン大賞」実施の準備として、**画像審査（一次審査）の実現、審査基準・審査員選定の見直し**について分科会形式で検討を進め、応募要項に纏めた。なお、応募作品部門は前回と同様の13部門。
- ・応募は前回からスタートしたHPからの申込みとし、**応募画像1点（二次審査での実物審査の展示見本）と追加画像3点による応募**について、チラシ・メルマガ等で全国の会員・非会員に対し幅広い参加を募った。

＜令和2年度のパッケージデザイン大賞2021スケジュール＞

※新型コロナウイルス感染拡大に伴い、応募締切～二次審査のスケジュールを下記のとおり延期した。

応募登録期間：令和2年3月2日(月)～4月17日(金) (Web開設は3月2日)

一次審査日 (画像審査)：令和2年6月8日(月)～6月15日(月)

作品提出期間：令和2年7月16日(木)～7月22日(水) (必着)

二次審査日(実物審査)：令和2年8月27日(木)

贈賞式：令和3年1月下旬の予定

2) JPDAパッケージデザイン功績賞2020の顕彰

- ・JPDAパッケージデザイン功績賞2020は4名の候補が挙がったが、理事と外部アドバイザーの意見を総合して理事会で審議し、JPDA専務理事の加藤芳夫氏(前JPDA理事長)に贈賞することとなった。

(3) パッケージデザインに関する展覧会事業

1) 展覧会事業

① 第3回創作展「みらいパッケージ展」(60周年記念事業)

- ・2016年、2018年の創作展に続く第3弾の展覧会に向け、企画・運営準備と応募要項の制作を行った。

- ・2020年のタイトルは「みらいパッケージ展」。

「不思議なみらい」、「美しいみらい」、「賢いみらい」、「たくましいみらい」、「楽しいみらい」、「やさしいみらい」から一つを選んで自由に表現する創作展を開催する。

- ・また、2016・2018・2020年の全3回分の作品を掲載する60周年記念本を出版する。

＜第3回創作展の開催スケジュール(※当初予定)＞

開催日時：東京展 令和2年9月10日(木)～9月22日(水) (13日間)

奈良展 令和2年11月4日(水)～11月15日(日)の予定 (12日間)

開催場所：東京展 渋谷ヒカリエ8/CUBE

奈良展 奈良公園バスターミナル

② 企画展「日本のパッケージ 縄文と弥生のデザイン遺伝子 複雑とシンプル」(60周年記念事業)

- ・凸版印刷(株)印刷博物館との共催で開催予定の、新たなコンセプトの企画展の開催準備を進めた。検討を進めるにあたり、参加を希望する会員を募って新たな検討チームを結成した。

- ・日本のパッケージデザインは縄文(複雑美)と弥生(単純美)の相反する美意識から生まれるという仮説のもと、東京国立博物館副館長のアドバイスも得て、5つのカテゴリー毎にデザインを「複雑」・「シンプル」の大きく二つに分けて紹介する展覧会となる。

＜企画展の開催スケジュール(予定)＞

開催日時：令和2年8月1日～10月4日

開催場所：印刷博物館P&Pギャラリー(東京)

③ 「日本パッケージデザイン大賞2019」巡回展

- ・「日本パッケージデザイン大賞2019」の入賞作品を展示する巡回展を以下の複数地区で開催し、日本パッケージデザイン大賞のPRを行った。

＜巡回展開催施設＞

(1) 大阪成蹊大学(令和元年6月9日～6月16日)

(2) 印刷博物館P&Pギャラリー(東京)「現代日本のパッケージ」(令和元年9月28日～12月8日)
期間中の12月1日に日本パッケージデザイン大賞の大賞受賞者・金賞受賞者を招いたトークショーを開催

(3) 富山市民プラザ(令和元年10月4日～10月6日)

(4) グッドデザイン丸の内(東京)：第1回アーカイブ展会場で金賞以上を展示
(11月4日～11月15日)

(4) パッケージデザインに関する各種セミナー・育成事業

1) セミナー事業

(a) 東日本：「Talk Café 2020」

トークカフェ2020は、令和2年2月21日(金)の開催で準備を進めていたが、新型コロナウイルスの影響で次年度に延期となった。

(b) 中日本

①愛知・岐阜地区：

諸般の事情により開催しなかった。

② 北陸地区：富山デザインフェア 2019 及びデザインスクール

- ・富山デザインフェアは富山市主催のデザインイベントであり、本年度は「日本パッケージデザイン大賞2019」の巡回展と、「富山の〇〇を包む」というテーマで、県内外のデザインを学ぶ学生からパッケージデザイン作品を公募し、応募作品を展示する学生パッケージデザインコンペティション作品展を開催した。
- ・また、昨年に引き続き、若手デザイナー育成を意図して、富山ADCの第一線で活躍するプロのデザイナーの協力のもと、「呉羽梨を全国ブランドに」というテーマでデザインスクールを開催した。昨年に引き続き、デザイン関連の2団体の合同スクールという試みであったが、若い世代にとってそれぞれの専門分野で横断的な意見交換ができ大変好評であった。(10月6日に開催)

開催日時：令和元年10月4日(金)～10月6日(日)

開催場所：富山市民プラザ

来場者数：2038名

③ 北陸地区：「JPDA Talk Café 2019 in 金沢」

JPDA Talk Café は平成25年度から中日本(北陸)の事業として、金沢、富山を隔年で開催しているが、第7回の本年は、富山を会場に「日本パッケージデザイン大賞2019」で金賞をダブル受賞された株式会社ライトパブリシティの鈴木奈々瀬氏と飲料部門で金賞を受賞された富山スガキ株式会社の金森健司氏をパネリストに招いて、新しいデザインを生み出す時のクライアントとの友好な関係の築き方とアイデアを重視したデザイン企画の作り方について、多くの事例を挙げて学生にも分かり易くご紹介いただいた。

開催日時：令和元年10月6日(日)

開催場所：富山市民プラザ3階AVスタジオ

参加者数：22名(会員12名、学生10名)

(c) 西日本

① 勉強会「あえる」Vol.1：「AdobeCC勉強会2019」＋「第38回通常総会報告会」

令和元年度の勉強会テーマ「あえる」はいろいろなものを「和える」ことによって新しい価値を生んでゆこうという姿勢を表している。

Vol.1では、昨年も講師をお願いしたアドビシステムズの岩本氏より、アドビの最新機能やその使い方、また、デザイン制作作業にそのまま使える便利な機能や時短アイテムの紹介があった。

いつもより長めに設定された質疑応答では、より実践に近い具体的な質問が多く出た。

総会報告会では、事業報告ムービーの上映後、渡邊事務局長から5月30日に東京で行われたJPDA通常総会での収支決算報告があった。そのあと、井上副理事長より、JPDA60周年事業、APD(アジアパッケージデザイン会議) in 奈良についての説明があった。

開催日時：令和元年6月21日(金) 14:00～17:00(勉強会/総会報告会) 18:50～20:50(交流会)

開催場所：メビック扇町 交流スペース(勉強会/総会報告会)/THE PASTA & GRILLS(交流会)

講師：岩本 崇氏(アドビシステムズ)

参加者数：勉強会56名(会員47名、一般9名)、交流会28名(会員27名、一般1名)

② 勉強会「あえる」Vol.2：「サントリーとコーセーのデザイン戦略」

西日本では珍しい東日本のインハウスデザイナーから大手企業のデザイン戦略が聞ける勉強会とい

うことで多くの出席者を得た。

山崎氏からは、コーセーのモノづくりについて、事例を交え、製品サンプルを披露しながらの丁寧な説明を、また、水口氏からは「面白いとは?」、「フリとオチ」など、キーワードを使っただけの商品分析をしていただいた。

講演の後のクロストークでは「デザイン調査は参考にしない傾向」や「社内プレゼンはしなくなった」というお話が大変印象的であった。

開催日時：令和元年8月23日（金） 13:30～17:00(勉強会)、17:30～19:30（交流会）

開催場所：大阪大学中之島センター 佐治敬三メモリアルホール/カフェテリアスコラ

講師：山崎 茂氏 (㈱コーセー 宣伝部クリエイティブディレクター)

水口洋二氏 (サントリーコミュニケーションズ(㈱) デザイン部長)

参加者数：勉強会 84名（会員 71名、一般 13名）、交流会 48名（会員 40名、一般 8名）

③ 勉強会「あえる」Vol.3：「世界が沸くデザインの異才」

奈良市で開催された APD2020 代表者会議（11/8 開催）の翌日、会議に出席されたタイのソムチャナ氏と台湾のオーウェン氏を講師に招いたセミナーであった。

ソムチャナ氏は自ら開発したデザインチェックシートを披露し、自社で取り組んでいる仕事を具体的に紹介いただいた。彼の講演ではパッケージが社会問題にアプローチし、さらに企業イメージも向上させるという点で勉強になった。

また、オーウェン氏の講演ではパッケージから空間までの幅広いデザインを手がけ、政府・国連・中国本土といった台湾に留まらない仕事の中で「台湾文化」を発信されていることが理解された。

開催日時：令和元年11月9日（土） 14:00～18:00

開催場所：グランフロント大阪ナレッジサロン

講師：Somchana Kangwarnjit氏（プロンプトデザインCEO・タイパッケージデザイン前会長）

Owen Yuan氏（台湾パッケージデザイン会長）

参加者数：45名（会員 41名、一般 4名）

2) デザイン保護事業

(a) ウェブサイトのデザイン保護コーナーの継続

今期は平成 31 年 4 月 18 日公開の Vol.112 「ストック素材の利用に潜む罠に落ちないために！」からスタートし、令和 2 年 3 月 5 日公開の Vol.120 「デザイン創作過程における留意点/知財塾第 2 回」までを掲載した。（詳細についてはウェブサイト参照）

(b) デザインの知的財産権保護に関する諸活動の推進

・デザインの知的財産権保護に関する諸活動を推進すると共に、デザイン保護セミナーを 1 回、知財セミナーを 2 回開催した。また、D-8 デザイン保護研究会への参加を継続した。

・デザイン保護セミナー「似ている(類似)? 似ていない(非類似)? デザイナーのための類否判断」

原田雅美弁理士を講師に迎え、意匠法における類似(似ている)の基本的な考え方に加え、類否の判断やそのための手法について、豊富な事例に基づき解説していただいた。類似の確認方法として、J-PlatPat で調べることは有効であり、今後の講習会等の解説も検討していきたい。

開催日時：令和元年9月12日（木） 18:30～20:30

開催場所：東洋インキ株式会社 大会議室

講師：原田雅美弁理士（のぞみ特許事務所）

参加者数：53名（会員45名、一般4名、弁理士4名）

・JPDA 知財塾 第 1 回「おさらい知的財産権」

JPDA 知財塾は少人数の塾生を募り 3 回実施する予定。

第 1 回は講義の途中でも適宜質問を受ける形式で、知的財産とは何か、その保護の必要性、知的財産法、護られる知的財産権、関連した各種制度・権利のポイントに主軸を置いて、永芳太郎弁理士を講師に迎え、メリハリある内容で進行した。

開催日時：令和元年11月26日（火） 15:00～18:00

開催場所：東洋インキ株式会社 大会議室

講師：永芳太郎弁理士（みずの永芳特許事務所 所長）

参加者数：13名（法人会員9名、個人会員2名、一般2名）

・JPDA知財塾 第2回「デザイン創作過程における留意点」

第2回は第1回に続き永芳太郎弁理士を講師に迎え、デザイン業務の依頼や受注の際に留意しておくべき知的財産の取り扱いについて、「コンセプト開発」⇒「デザインの具体化」⇒「製品化」に至るまでの流れの中で解説をお願いした。

開催日時：令和2年2月4日（火） 15:00～17:30

開催場所：東洋インキ株式会社 大会議室

講師：永芳太郎弁理士（みずの永芳特許事務所 所長）

参加者数：13名（法人会員9名、個人会員2名、一般2名）

知財塾については令和2年6月以降に第3回を開催する予定。

3) 教育事業

今回は、梅原理事発案のもと、「JPDA vs JAGDA」といういままでにない試みのセミナー（トークショー）「サトウとカトウ グラフィックデザインとパッケージデザインはちがうんです」を開催した。グラフィックデザインとパッケージデザインの境界線が曖昧になりつつある、ボーダレスな現在のデザイン界を象徴する企画であったと言える。

JPDA 梅原理事をレフリーに、JAGDAの佐藤 卓会長とJPDA加藤芳夫専務理事（前JPDA理事長）のお二人が二つのデザイン領域の違いについて本音でお互いの考えを主張するトークバトルであり、出席者も一体になったライブ感と熱気にあふれた時間であった。

タイトルやメインのイラストのインパクトと相まって、事前に多くの場所でチラシによるPRを行ったのが奏功し、300名近い、いままでにない多くの参加者を得た。また、参加者の1/3が非会員であったこともいままでに例を見ないことであり、JPDAの存在を広く知ってもらえる良い機会となった。

開催日時：令和元年10月28日（月） 19:00～20:30

開催場所：東洋インキ株式会社 大会議室（京橋エドグラン）

参加者数：272名（会員187名、一般65名(JAGDA会員を含む)、学生20名)

(5) パッケージデザインに関する国内・国際交流事業

1) 全国会議事業（60周年記念事業「アジアパッケージデザイン会議+奈良デザイン会議」の準備）

- ・2020年のJPDAデザイン会議の開催を検討してきたが、2020（令和2）年の60周年記念事業として11月に奈良での開催を検討している「APD(アジアパッケージデザイン会議) in NARA（奈良）」と同じ場所・日程で開催し、国内だけではなくアジアのパッケージデザイン関係者との交流（CROSSING）を図ることとなった。
- ・令和元年度は国際交流委員会・西日本委員会・東日本委員会・国内交流委員会が合同で、その企画・運営の準備を進めた。

2) 新年交流事業

(a) 東日本：

本年の新年交流会は日比谷公園を眼下に見下ろす「レストラン アラスカ」で開催した。

第一部は書道家の中澤希水氏を招いた「書のチカラ！」と題した、実演も交えた講演会。第二部に入る前に井上副理事長と「せんとくん」（奈良のゆるキャラ）による「APD in 奈良」の告知があった後、伊藤理事長の挨拶に始まる第二部「賀詞交換会」に移った。来賓挨拶・乾杯の後、歓談に入り、例年行っている新人紹介や60周年事業の紹介を挟んで活発な交流が行われた。

JPDA 創立60周年に向けて新たな活力が期待できる会となった。

開催日時：令和2年1月28日(火) 18:00～21:00

開催場所：レストラン アラスカ 日本プレスセンター内

参加者数：第1部 新春特別講演会「書のチカラ！」：115名

内訳（会員 107 名、一般 3 名、招待 5 名）

第 2 部 賀詞交換会：176 名

内訳（会員 162 名、新入会員 4 名、一般 3 名、招待 7 名）

(b) 中日本愛知・岐阜地区：

諸般の事情により開催しなかった。

(c) 西日本：

本年の西日本新年交流会は「ASPAC大阪展 成果報告イベント」の後の開催であった。ASPAC大阪展で、ASPAC協会会長でJPDA東日本会員であるフミ・ササダ氏のセミナーがあったため、西日本の勉強会はなく交流会のみの開催であった。

フミ・ササダ氏をはじめ東京・岡山からの会員や新入会員も加わり、新鮮な顔ぶれで積極的な交流が行われた。今回から設けられた「法人会員による企業アピールタイム」（平和紙業（ASPAC展の会場）、アイ企画、大和板紙からの商品・技術紹介）の後、井上副理事長から、協会全体で企画を進めている60周年記念事業の概略と11月の「APD in NARA」についての詳細な案内があった。

開催日時：令和2年2月10日(土) 19:30～21:30

開催場所：ローザ・ロッチェ（中央区南船場 IPシティホテル大阪1F）

参加者数：42 名（会員 42 名）

3) 国際交流事業

(a) APD(アジアパッケージデザイン会議) in NARA (奈良) の企画・運営準備

APD（アジアパッケージデザイン会議）は韓国・上海・台湾・日本の4カ国・地域（今回からタイも正式に参加の予定）で、パッケージデザインについての情報交換と地域交流、さらには各国の作品を展示する展覧会の開催を目的として、隔年、持ち回りで開催しているが、JPDA 創立 60 周年となる 2020（令和2）年は日本がホスト国となり、「Think Design Future」をテーマに、日本の古都奈良で開催するべく、内容検討を進めている。

また、前述のように、60周年記念事業として、国内で毎年開催している JPDA デザイン会議も同時期・同じ場所での開催を計画しており、国際交流だけではなく、西日本、東日本、国内交流の4つの委員会が合同で企画・運営の準備を進めている。

<APD in NARAの開催スケジュール（予定）>

開催日時：令和2年11月13日(金) 9:30～18:00

開催場所：奈良 春日野国際フォーラム「豊(いらか)」

※展覧会は11/13(木)～11/15(土)に奈良公園バスターミナルでの開催を検討中

講師：ウスビサコ氏（京都精華大学 学長）、佐藤 卓氏（JAGDA 会長）

参加者数：海外 100 名、国内 100 名（予定）

(b) APD 代表者会議

「アジアパッケージデザイン会議」については、毎回、開催する前年に、参加国の代表者が集まって会場の下見を兼ねて会議の内容の共有化を図る「代表者会議」を実施している。

今回の主な確認事項は、会議のテーマ「Think Design Future」、シンボルマーク、当日の内容とスケジュール、次回の開催国等であったが、今回からの新しいアクションプラン：「APD 奈良宣言」、

「APD WEB MEDEIA」（いままでの展覧会作品集に代わる WEB での作品紹介）について議論し、概ね各国からの同意を得られた。

開催日時：令和元年11月8日(金) 14:00～17:00

開催場所：奈良 春日野国際フォーラム会議室

参加者数：韓国パッケージデザイン協会（Kang,Boo 理事長他 2 名）、

上海包装技術協会（Zhuang Jianmin 事務局長他 2 名）、

台湾パッケージデザイン協会（Owen Yuan 理事長他 2 名）

タイパッケージデザイン協会（Somchana Kangwartniji 前理事長）、

JPDA（伊藤理事長他 5 名）

(c) 「アジア学生パッケージデザインコンペティション」に JPDA 賞を設け優秀作品を顕彰

独立行政法人国際交流基金とアスパック協会が推進するアジア学生交流プロジェクトのパッケージデザインコンペティションを、JPDA が持つコンペティションのノウハウを活用し作品審査及び贈賞式等の企画・運営を行い、令和元年 12 月 4 日の贈賞式では、JPDA 賞を設け優秀作品を顕彰した。

(6) 出版事業

(a) 『年鑑 日本のパッケージデザイン 2019』の出版：

企画・編集を進めてきた日本のパッケージデザイン大賞2019の大賞1点・金賞10点・銀賞13点・銅賞11点・特別審査員賞4点を含めた入賞・入選作品423点を掲載した『年鑑 日本のパッケージデザイン 2019』を令和元年5月に発刊した。

今回のトピックはアートディレクションを依頼した東海林小百合氏が中心となって編集を進めたこと、また、巻末特集「平成のパッケージ～生活を変えたデザイン～」を企画・制作したことである。

(b) パッケージデザインインデックス (『Package Design Index 2020 “Our Best Works”』)

の出版準備 (60周年記念事業)：

『Package Design Index』は最新の日本のパッケージデザインに関する作品と技術を網羅し、パッケージとブランディングに関わる作品集であり隔年に発刊しているが、2020年は日本を代表するパッケージデザイナーの代表作品を掲載した日本のパッケージデザインベストワーク集 (60周年の記念事業) として、令和2年5月に発刊した。

(7) 2020 プロジェクト JPDA60周年事業準備チーム

「APD (アジアパッケージデザイン会議)」の企画・運営準備、「JPDA パッケージデザインの学校」のパンフレット作成、企画展の告知グラフィック制作等、多方面の諸準備を進めた。

II. 収益事業報告

(1) 収益事業

独立行政法人国際交流基金と一般社団法人アスパック協会が推進するアジア学生交流プロジェクトを受託し、JPDA が永く培ってきたノウハウを活用して学生のパッケージデザインコンペティションに関する作品審査及び贈賞式等の企画・運営を推進した。令和元年度は、JPDA 国際交流委員会・国内交流委員会・展覧会委員会の支援の下、地域を東アジアに拡大してから5回目のパッケージデザインコンペティション&贈賞式及び入賞作品の展覧会を開催した。

今回は、日本・韓国・中国・台湾・タイ・インドネシア・シンガポール・マレーシア・ベトナム・フィリピン・インド (今回初参加) アジアの 11 カ国・地域の学生がコンペティションに参加した。とくに12月のアスパックウィーク後半に東京のグッドデザイン丸の内で開催された展覧会は期間中5,000人を越える来場者を得て成功裏に終了した。

また、今回初めてネーミング・ロゴマーク・グラフィックを105分でデザインする「オリンパック」を開催。欧米 (フランス・イタリア・アメリカ等) も加えた18カ国・地域の学生が、「ペットフード」のテーマのもとデザインを競った。会場ライブをYouTubeで世界に配信し注目度が高いイベントとなった。

III. 官庁主催会議及び外部団体との会議並びに事業協力

(a) 内閣府

令和元年10月2日 内閣府立入検査に伊藤理事長、渡邊事務局長が出席

(b) 経済産業省

平成 31 年 4 月～令和 2 年 4 月 依頼事項についての協会ウェブサイト会員ページでの周知協力
「下請けいじめ防止」、「デザイン関連の知財教材に関する資料公開」、「消費税率引上げ関連」、
「日本人のローマ字表記」、「改訂意匠審査基準」、「新型コロナウイルス関連」等
令和 2 年 1 月 23 日 令和元年度経済産業行政担当者研修に山本事務局員が出席

(c) 地方自治体、商工会議所等

令和元年 6 月 20 日 【広島市経済観光局ひろしまプロモーションセンター】高橋マネージャー、空本
主査と面談、広島市に新規事務所開設の際についての諸援助について
令和元年 6 月 24 日 【堺市商工会議所 地域振興課の依頼】三原理事がセミナー講師として講演
令和元年 9 月 19 日 【和歌山県 商工観光労働部の依頼】三原理事がセミナー講師として講演
令和 2 年 2 月 12 日 【神戸商工会議所 中小企業振興部の依頼】三原理事がセミナー講師として講演

(d) 日本デザイン団体協議会 (D-8)

平成 31 年 4 月 26 日 ジャパンデザインミュージアム設立研究 (以下 JDM) 委員会に柴野委員、松田委
員が出席
令和元年 5 月 22 日 第 1 回デザイン保護研究会に徳岡委員長、高田理事が出席
令和元年 6 月 4 日 JDM 委員会に柴野委員が出席
令和元年 7 月 24 日 第 2 回デザイン保護研究会に徳岡委員長、丸山委員が出席
令和元年 7 月 25 日 JDM 委員会に柴野委員が出席
令和元年 7 月 30 日 第 47 回「D-8」運営会議に伊藤理事長、渡邊事務局長が出席
令和元年 8 月 30 日 JDM 委員会に柴野委員が出席
令和元年 9 月 12 日 JDM 委員会に柴野委員が出席
令和元年 9 月 25 日 第 3 回デザイン保護研究会に徳岡委員長、高田理事が出席
令和元年 10 月 18 日 JDM 委員会に柴野委員が出席
令和元年 11 月 14 日 JDM 委員会に柴野委員が出席
令和元年 11 月 19 日～29 日 展覧会「ジャパンデザインミュージアム構想」in 金沢
(会場：金沢工芸美術大学 柳 宗理デザイン研究所)
の期間中 (11/25・26) 柴野委員が受付を担当
令和元年 11 月 20 日 第 4 回デザイン保護研究会に徳岡委員長が出席
令和元年 12 月 7 日 豊島区民センターでの JDM トークイベントに柴野委員が受付を担当
令和元年 12 月 12 日 JDM 委員会に信藤理事、入江理事、柴野委員が出席
令和 2 年 1 月 29 日 第 5 回デザイン保護研究会に徳岡委員長、高田理事が出席
令和 2 年 1 月 29 日 JDM 委員会に入江理事、柴野委員、松田委員が出席
令和 2 年 2 月 5 日 第 48 回「D-8」運営会議に伊藤理事長、渡邊事務局長が出席
令和 2 年 2 月 19 日 JDM 委員会に柴野委員、松田委員が出席

(e) 外部団体への事業協力

①公益社団法人日本包装技術協会

令和元年 6 月 13 日 「2019 日本パッケージングコンテスト」審査会に伊藤理事長が出席し審査協力
令和元年 8 月 29 日 「2019 日本パッケージングコンテスト」授賞式に伊藤理事長が出席
令和元年 1 月 8 日 包装界賀詞交歓会に加藤専務理事が出席

②一般社団法人日本印刷産業連合会

令和 2 年 1 月 8 日 日本印刷産業連合会の新年交歓会に加藤専務理事・渡邊事務局長が出席
令和 2 年 1 月 31 日 「ジャパンパッケージングコンペティション」審査会に伊藤理事長・加藤専務理事
が出席し、審査協力

③公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会

令和元年 6 月 28 日 総会・交流会に加藤専務理事が出席

④公益社団法人日本インテリアデザイナー協会

- 令和元年6月7日 総会後の懇親会に加藤専務理事が出席
- ⑤公益社団法人ジュエリーデザイナー協会
令和元年5月29日 総会後の懇親会に伊藤理事長が出席
- ⑥一般社団法人日本空間デザイン協会
令和2年1月15日 総会後の賀詞交歓会に渡邊事務局長が出席
- ⑦一般社団法人日本能率協会
令和2年2月18～21日 「オリジナル商品開発 WEEK 『第2回パッケージ×デザイン展』」開催期間中、JPDA 山崎理事、三原理事、小川(亮)理事、森理事がセミナーで講演
- ⑧東北経済産業局
令和元年10月29・30日 「おいしい東北」審査会に加藤専務理事が審査員として出席
令和元年12月11日 「おいしい東北パッケージ展」のフォーラム・表彰式に加藤専務理事が出席
- ⑨凸版印刷(株) 印刷博物館
平成31年4月12日 P&P ギャラリーで開催された「グラフィックトライアル展」レセプションに加藤専務理事が出席
令和元年9月27日 P&P ギャラリーで開催された「現代日本のパッケージ展」のオープニングで伊藤理事長がスピーチ(加藤専務理事、渡邊事務局長が同席)
令和元年12月1日 P&P ギャラリーで開催された「現代日本のパッケージ展」のトークショーにモデレーターとして伊藤理事長が、スピーカーとして山崎理事が参加
- ⑩一般社団法人流行色協会
令和元年6月28日 総会後のパーティーに伊藤理事長が出席
- ⑪一般社団法人タイポグラフィ協会
平成31年4月19日 表彰式後のパーティーに伊藤理事長が出席
- ⑫一般社団法人大阪デザインセンター
令和元年5月29日 JPDA 三原理事がセミナーで講演
令和2年2月12日 JPDA 三原理事がセミナーで講演
- ⑬その他
令和元年6月13日 (一社) 東京イラストレーターズ・ソサエティ小池理事長他と面談
令和元年7月31日 (一社) デザインと法協会 伊藤理事長が峯理事長と面談
令和元年11月26日 (公財) 堺市産業振興センターのセミナーで JPDA 三原理事が講演
令和元年12月23・24日 日本国際博覧会(大阪) ロゴマークデザイン審査に伊藤理事長が協力
令和2年2月12日 香港貿易発展局の交流昼食会に伊藤理事長が出席
令和2年2月12日 株式会社電通金子氏とサンパウロ「JAPAN HOUSE」での JPDA 巡回展開催の可能性について面談

IV. 名義関連

(1) 後援名義

- ・「World Interiors Week 2019 in Japan」(主催：(公社) 日本インテリアデザイナー協会・(公社) 日本デザイン振興会)
- ・「日本パッケージングコンテスト」(主催：(公社) 日本包装技術協会)
- ・「インテリアライフスタイル」(主催：メッセ フランクフルトジャパン)
- ・「コンテンツ東京 2020」(主催：リード エグジビション ジャパン株式会社)
- ・「おいしい東北パッケージデザイン展及びフォーラム 2019」(主催：東北経済産業局)
- ・「第13回メディア・ユニバーサルコンペティション」(主催：日本印刷工業組合連合会)
- ・「第31回公募 2020 日本ジュエリー展」(主催：(公社) 日本ジュエリーデザイナー協会)

- ・「IFFT/インテリア ライフスタイル リビング 2019」(主催:(一社)日本家具産業振興会)
- ・「学生照明展 2020」(主催:学生照明展実行委員会)
- ・「Next Eco Design 展 2019」(主催:(公社)日本インダストリアルデザイナー協会)
- ・「第59回 2020年 ジャパンパッケージングコンペティション」(主催:(一社)日本印刷産業連合会)

(2) 協賛名義

- ・「第88回東京インターナショナル・ギフトショー秋2019」
「東京インターナショナル・ギフトショー2019 第6回 LIFE×DESIGN」
(主催:株式会社ビジネスガイド社)
- ・「日本プロモーション・マーケティング協会展」
(主催:日本プロモーション・マーケティング協会)
- ・「JAPAN PACK 2019」(主催:(一社)日本包装技術協会)
- ・「オリジナル商品開発 WEEK『第2回パッケージ×デザイン展』」(主催=(一社)日本能率協会)
- ・「第30回 西日本食品産業創造展'20」(主催:日刊工業新聞社西部支社)
※新型コロナウイルスの影響で開催中止となった。
- ・「第87回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2020」
「東京インターナショナル・ギフト・ショー春2019 第5回 LIFE×DESIGN」
(主催:株式会社ビジネスガイド社)
- ・「PAGE 2020」(主催:(公社)日本印刷技術協会)

(3) 共催名義

- ・展覧会「現代日本のパッケージ展 2019」(JPDA 大賞巡回展) (主催:凸版印刷株式会社 印刷博物館)
- ・「富山デザインフェア 2019」(JPDA 大賞巡回展) (主催:富山デザインフェア実行委員会)

(4) 協力名義

- ・「ライティング・オブジェ 2019」(主催=ライティング・オブジェ制作委員会)

V. 会議開催状況

- | | | | |
|---------------|---------|--|---------------|
| (1) 総会 (第38回) | 令和元年5月 | 東京都文京区 | 東京ガーデンパレス・会議室 |
| (2) 臨時総会 | 開催なし | | |
| (3) 定例理事会 | 令和元年5月 | 東京都文京区 | 東京ガーデンパレス・会議室 |
| | 令和元年7月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和元年9月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和元年11月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和2年1月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和2年3月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| (4) 臨時理事会 | 平成31年4月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和元年6月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| (5) 会員入会審査 | 令和元年5月 | 東京都文京区 | 東京ガーデンパレス・会議室 |
| | 令和元年7月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和元年9月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和元年11月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和2年1月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| | 令和2年3月 | 文京シビックセンター | ・会議室 |
| (6) 各委員会 | 令和元年度中 | 調査研究、アーカイブ、広報、インターネット、
コンペティション、展覧会、教育、デザイン保護、
国内交流、国際交流、出版、アスパック、
60周年記念事業(企画展、パッケージデザインの学校、 | |

APD（アジアパッケージデザイン会議） in NARA(奈良))
及び地域の各事業で委員会を開催。

VI. 令和元年度会員異動状況

会員別	平成31年3月31日	平成31年4月1日～令和2年3月31日		令和2年3月31日
		入会	退会	
法人会員	241	8	8	241
個人会員	535	18	23	530
賛助会員	3	0	0	3
合計	779	26	31	774

報告事項

- (1) 令和元年6月27日 内閣総理大臣あて、認定法第22条第1項の規定による平成30年度事業報告及び収支決算書に係わる書類の提出。(電子報告)
- (2) 令和2年3月24日 内閣府大臣官房公益法人行政担当室長あて、認定法第21条第1項の規定に係わる令和2年度事業計画書及び収支予算書の提出。(電子報告)

以上